

平成 24 年度第 4 回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 24 年 12 月 8 日（土）13：15～14：00

開催場所 土気あすみが丘プラザ体育館

出席者 委員 19 名中 13 名出席、手話通訳者 2 名
事務局 7 名（緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 2 人、
社協緑区事務所 2 名、市地域福祉課 2 名）

【次 第】

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題
(1) 平成 24 年度緑区地域福祉計画の推進について
見守りネットワーク小委員会の活動報告 他
- 4 その他
- 5 閉会

【議事及び質疑要旨】

議題（1）平成 24 年度緑区地域福祉計画の推進について

中村副委員長の進行により各委員から活動報告があった。

①報告事項

主な発言内容は以下のとおり。

（中村副委員長）山田委員から報告をお願いします。

（山田委員）11 月 8 日に初めておゆみ野公民館でいきいきサロンを実施した
総勢 90 名の参加があった。新規が 8 名きた。初めてにしてはよかった。
参加者からも次回以降も公民館での実施希望があった。

11 月 1 日に清掃活動を行った。

広報委員会では 11 月 1 日に広報紙最新号を発行した。

（松戸委員）12 月 9 日におゆみ野南小学校で避難所運営準備会を行う。

12 月 15 日には泉谷小で避難所運営委員会を行う。

有吉中学校区は学校連絡会と共に、3 月末までに運営委員会を結成する。
千葉市のゴミ有料化が迫っている。自分でゴミを出せない人の個別収集
を申し出ている。

（田宮副委員長）11 月 24 日にこみこん祭りを行った。今年は初めて前夜祭を行った。
子供たちのダンスでとても元気が出た。地域の連携の大切さが分った。

（中村委員）502 地区民児協は敬老会の報告がほぼ完了した。
避難所も自治会地区連と一緒に進めている。

- (本田委員) 今年度は地域住民と子供たちの交流を大事にしてきた。
11月10日にしいのみ祭りをPTAと一緒にいった。地域住民は昔遊びを子供たちに教えた。
11月15日のふれあい食事会には椎名小学校より児童が来て、高齢者と子供たちの交流を深めた。
11月22日にかっこ舞(雨乞いの舞)をいった。
漢字パワーアップを毎週水曜日に地域のボランティアと一緒に子供たちと仲良く、老化防止も含めて行っている。
- (委員長) かっこ舞は椎名地区に伝わる雨乞いの祭りである。
12月6日の朝日新聞にかっこ舞の写真と記事が出た。
伝統文化を子供達に伝えていきたい。かっこ舞は体の前につけた小さな鼓を打ちながら頭に竜の仮面をつけて神社の前で踊るものである。
- (中村副委員長) 移送サービスについては10月時点とほぼ同じなので割愛する。
- (稲山委員) 土気地区部会では11月23日に昭和の森でウォークラリーをいった。雨であったが決行した。参加者が少なかったが8グループ、30名が参加した。チェックポイントでは東屋を利用して雨をしのいでゲームを楽しんだ。豚汁も振舞った。
11月16日に土気公民館の健康講演会は62名参加した。
11月15日の子育てサロンでは救命講習会を日赤の講師を招きいった。
- (斉藤委員) 23地区連で12月2日に防災体験会を実施した。HUG訓練(避難所運営ゲーム)をいった。避難所運営に非常に役に立った。
- (徳田委員) 区老連の行事として輪投げ大会を菅田公民館でいった。120名の参加があった。グラウンドゴルフ大会・ゲートボール大会を10月にいった。芸能大会を10月30日に245名の参加で盛大にいった。また警察交通課の講演会を行っている。
- (坂井委員) 11月の予定は鎌取地区の自治会と聾唖者協会の話し合いを行う予定だったが、日程調整がつかず実施できなかった。来年4月から改めて進める。
2月に聴覚障害者協会の50周年記念大会がある。
- (委員長) 1月31日に各区の推進協委員長会議がある。その場で区推進協の状況報告を行わなければいけないので、各委員は今日の資料の空欄箇所を後日報告して欲しい。
- (烏山委員) 見守り活動に関する小委員会で9月に実施したアンケートをまとめた。今日はこれから講演会を実施する。民生委員児童委員と町内自治会長に声かけしている。また講演会後にアンケートを行い、今後の見守り活動の支援を進めていきたい。
- (委員長) 12月6日に災害マップ小委員会を開催した。各地域のマップを作るための内容を協議した。
学校と施設の交流小委員会は来週火曜日に施設と学校側との意見交換会を開催する。
- (中村副委員長) 「みどりのきずな」は皆さんからいただいた記事をまとめて1月に発行したい。広報部会に一任いただきたい。

4 その他

- (事務局) 本日は横浜市の資料を配布している。
横浜市では町内自治会へ要援護者の名簿を提供しているという話が前回の会議ででた。
現在横浜市ではパブリックコメントを募集している。新しい条例を作るときに市民の意見を聞くものである。
手上げ方式や同意形式の名簿を配るやり方以外に新しい方式として横浜市で把握している名簿を町内自治会に提供できるよう検討している。
それを情報共有方式としている。
町内自治会でやりたいところは横浜市と協定を結んで実施することになる。町内自治会への資料提供に拒否の意思がなければ町内自治会に情報がわたることになる。
パブリックコメントを今、集計中なので結果が出たらまた紹介する。
- (委員長) 今までは同意方式か手上げ方式しかなかったが、情報共有方式を新しく始めている。
- (松戸委員) 千葉市は今後どのような見通しなのか教えて欲しい。
- (事務局) 千葉市の考え方については個人情報の提供について個人の意思に配慮することを必要としている。災害時地域支えあい事業では同意方式と手上げ方式として採用している。
全国的には横浜市と神戸市が要援護者の拒否の意思がない限り、同意しているとして情報共有方式を取り入れたいとしている。
千葉市も災害時要援護者支援計画に基づき、災害時の安否確認や避難支援に役立てるため、災害時要援護者名簿を作成し関係課や民生委員に配付している。今後は、このような方法も参考にしていく、と第4回の千葉市議会定例会の代表質問で市長が答弁している。
- (委員長) 2月の推進協でさらに深めようと思う。次の推進協の議題に載せたい。具体的にどのように行っているか資料があれば提供して欲しい
- (事務局) 毎年2月の推進協の後に懇親会を行っているので今年度も行いたい。
2月推進協の開催案内文に詳細を記すので、よければ参加して欲しい。

委員長が閉会を宣し、第4回緑区地域福祉計画推進協議会は散会。